# スケジュール連携簡易マニュアル

igl[NI Collabo Smart /Sales Force Assistant シリーズ igl]



Copyright ( C ) NI Consulting Co., Ltd. All rights reserved.

#### 目次

1.	はじめに	. 2
	1-1. スケジュール連携について	2
	1-2 対象製品	2
	1-3. 連携のタイミング	2
2.	設定手順について	. 3
	2-1 準備	3
	2-2. 設定手順	3
3.	スケジュール連携を行うための設定	. 4
-	3-1. Google アカウントの作成	4
	3-2. GOOGLE CALENDAR API の設定	4
	3-3. 弊社製品システム設定	.11
	3-4. GOOGLE カレンダーの設定	.12
	3-4 戦社製品のオプション設定	16

## 1. はじめに

#### 1-1. スケジュール連携について

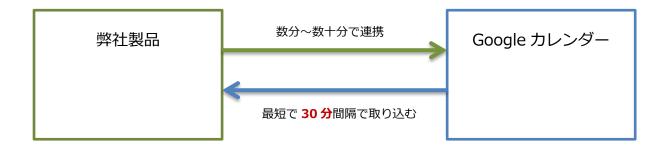
スケジュール連携機能は、NI Collabo Smart、Sales Force Assistant シリーズのスケジュールを、Google カレンダーに連携して自動登録することができます。また、Google カレンダーから登録したスケジュールも NI Collabo Smart、Sales Force Assistant シリーズのスケジュールとして、取り込みができます。本書では Google カレンダーとの連携方法の中で、一番簡単な設定方法について説明いたします。他の連携設定につきましては「スケジュール連携マニュアル」を参照してください。

#### 1-2. 対象製品

- 1. NI Collabo Smart
- 2. Sales Force Assistant シリーズ

#### 1-3. 連携のタイミング

Google カレンダーとの連携のタイミングは以下のとおりです。リアルタイムには連携しません。



## 2. 設定手順について

#### 2-1. 準備

スケジュール連携機能を利用するためには、以下の準備を行う必要性があります。

- 1. お客様が共有して利用可能な、Google アカウント(Google カレンダーとの連携専用のアカウント)
- 2. Google カレンダーと連携をしたい社員様の Google アカウント(利用される方のみ)
- 3. Chrome™ ブラウザ (Google Calendar API の設定時に利用)

#### 2-2. 設定手順

設定手順は以下のとおりです。 1 ~ 3 は弊社製品のシステム管理者様にて操作していただきます。 4 と 5 は Google カレンダーとデータを連携したい社員様が設定をおこなっていただきます。

- 1. Google カレンダーとの連携専用のアカウントの新規登録 ※以降、専用アカウントと表記します。
- 2. 専用アカウントの Google Calendar API を設定
- 3. 弊社製品のシステム設定にてスケジュール連携の設定
- 4. Google カレンダーの設定 ※スケジュール連携を利用される方のみ
- 5. 弊社製品のオプション設定にてスケジュール連携の設定 ※スケジュール連携を利用される方のみ

お客様にて専用アカウントの準備と Google Calendar API の設定を行っていただくことが、セキュリティが一番強固になるため、弊社ではこの準備方法をご案内しております。

## 3. スケジュール連携を行うための設定



・Google のサイトでの設定は、Chrome™ ブラウザを利用してください。

#### 3-1. Google アカウントの作成

Google カレンダーとの連携をおこなうための Google アカウントを作成してください。 既に専用のアカウントを作成されている場合は、こちらの作業は不要です。

- 1. https://accounts.google.com/signup にアクセスしてください。
  - ※上記 URL は 2015 年 12 月 14 日時点にアクセス可能な URL になります。
  - ※作成方法については Google のヘルプを参照してください。

#### 3-2. Google Calendar API の設定

Google カレンダーとの連携をおこなうためには、Google Calendar API を有効化する設定が必要になります。

1. <a href="https://code.google.com/apis/console">https://code.google.com/apis/console</a> にアクセスし、専用アカウントでログインしてください。 ※上記 URL は 2015 年 12 月 1 4 日時点にアクセス可能な URL になります。



## アカウント 1 つですべての Google サービスを。

Google Developers Console に進むにはログインしてください



アカウントを作成

1 つの Google アカウントですべての Google サービスにア クセス



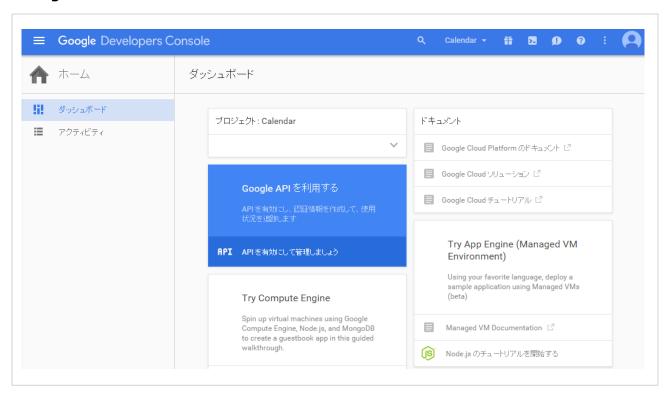
2. 画面上部の「プロジェクトを選択してください」の「▼」より「プロジェクトの作成」を選択してください。



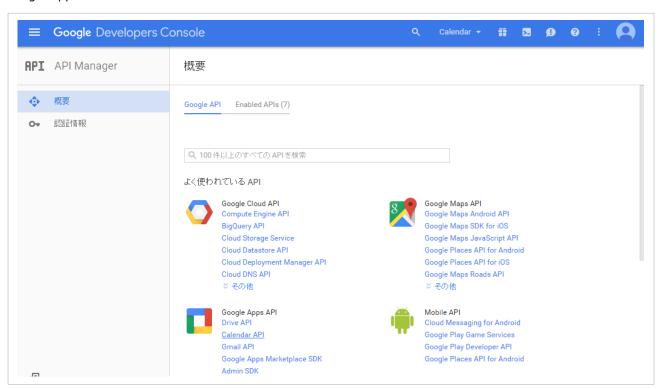
3. プロジェクト名に「**Calendar**」と入力し、「**作成**」ボタンをクリックしてください。 ※プロジェクト名はお客様にて指定していただいて結構です、このマニュアルでは「Calendar」とします。



4. 「Google API を利用する」をクリックしてください。



5. Google Apps API に表示されている、「Calendar API」をクリックしてください。



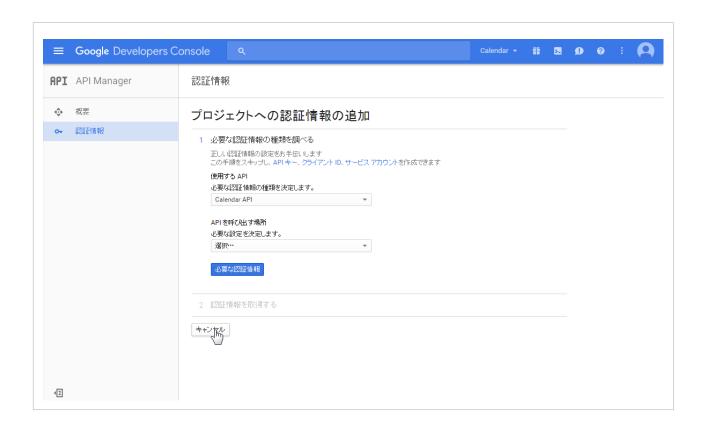
#### 6. 「API を有効にする」をクリックして有効にしてください。



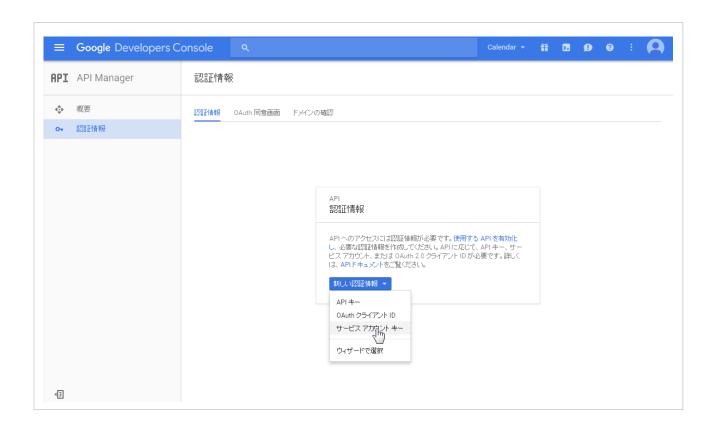
#### 7. 「認証情報に進む」をクリックしてください。



8. 「キャンセル」ボタンをクリックしてください。



9. 「新しい認証情報」をクリックし、「サービスアカウントキー」をクリックしてください。



10. サービスアカウントは「**新しいサービスアカウント**」を選択してください。 名前に「**Calendar**」と入力、キーのタイプは「**P12**」を選択し、「**作成**」ボタンをクリックしてください。

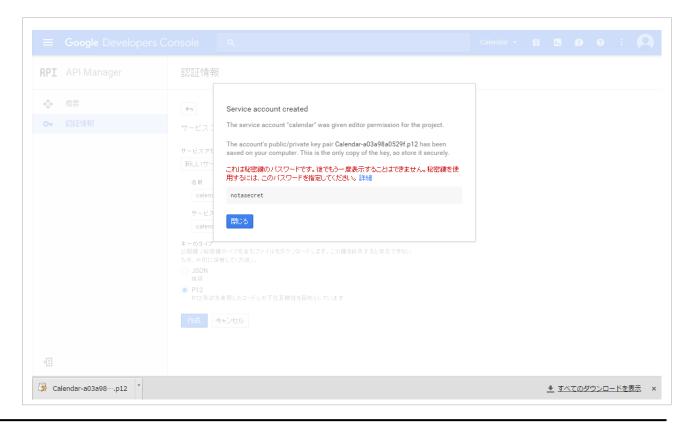


11. ブラウザの下部に、ダウンロードされた P12 ファイルが表示されます。

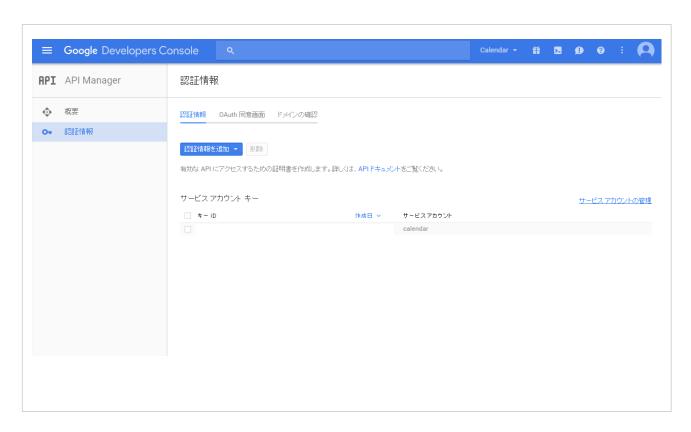
このファイルをドラッグ&ドロップでデスクトップなどに保存してください。

P12 ファイルは弊社製品のシステム設定にて利用します。

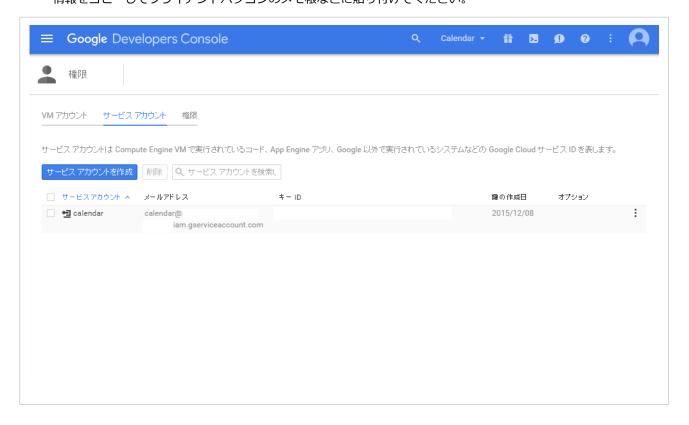
Serveice account created のウィンドウは、「閉じる」ボタンをクリックして閉じてください。



12. 画面、右中央に表示されている「サービスアカウントの管理」をクリックしてください。



13. **メールアドレスの情報**は、弊社システム設定および個人設定にてこの情報を利用します。 情報をコピーしてクライアントパソコンのメモ帳などに貼り付けてください。



以上で、Google Calendar API の設定は完了になります、次に弊社製品のシステム設定を行ってください。

#### 3-3. 弊社製品システム設定

- 1. 弊社製品にログインし、システム設定画面を開いてください。
- 2. 運用管理 > スケジュール連携 > 基本設定を開いてください。
- 3. 入力項目に以下の設定を行い、

保存

ボタンをクリックしてください。

スケジュール連携	「連携する」を選択
連携サービス	「 <b>Google カレンダー</b> 」を選択
個人ごとの設定変更許可	「許可する」を選択
連携サービスへの登録	「使用する」を選択
	※Google カレンダーに弊社製品のスケジュールデータを反映します。
連携サービスからの取り込み	「使用する」を選択
	※Google カレンダーの情報を NI Collabo Smart のスケジュールに反映します。
取り込み間隔	「60」を選択
スケジュールの公開 (NI Collabo	NI Collabo Smart に取り込まれたスケジュール
Smart)	「個人設定(初期値は公開する)」を選択
スケジュールの公開(Google カ	Google カレンダーに取り込まれたスケジュール
レンダー)	「 <b>限定公開</b> 」を選択
共通認証情報	Google Calendar API で設定した、
連携メールアドレス	メールアドレス「 <u>xxxx@xxxx.xxx.gserviceaccount.com</u> 」を入力してください。
	※「3-2. Google Calendar API の設定」の12を参照してください。
共通認証情報	Google Calendar API の設定でダウンロードした、
連携キーファイル	P12 ファイル「xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx
	※「3-2. Google Calendar API の設定」の10を参照してください。

以上で、システム設定は完了になります。

次は、Google カレンダーと連携を行ないたい社員様にて、連携設定をおこないます。

連携設定する社員様に、上記「連携メールアドレス(xxxx@xxxx.xxx.gserviceaccount.com)」を連絡してください。

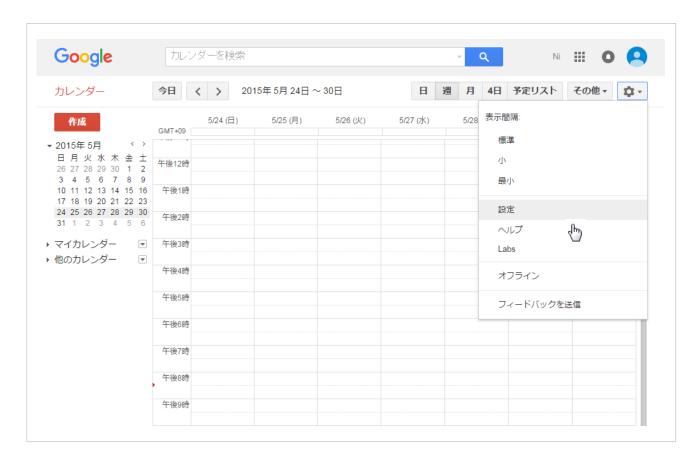


- ・Google カレンダーを利用される社員が300名を超える場合、 スケジュール取り込み間隔の値を大きくしてください。 Google Calendar API の一日の利用回数が100万回となっているためです。
- ・Google アカウントを新規作成し、Google Calendar API の設定を行った場合、 1時間ほど時間をあけてから、社員様に連携メールアドレスのご連絡を行ってください。 これは Google 側の設定反映に時間を必要とする場合があるためです。

## 3-4. Google カレンダーの設定

Google カレンダーと連携したい社員様ごとに、以下の設定をおこなってください。

- 1. Google アカウントのログインし、Google カレンダーの画面を開いてください。 https://accounts.google.com/
  - ※上記 URL は 2015 年 12 月 14 日時点にアクセス可能な URL になります。
- 2. 「設定」メニューから「設定」をクリックしてください。



3. 画面上部の「**カレンダー**」を選択してください。



4. 画面の中央右にある、「共有設定を編集」をクリックしてください。



5. ユーザーに**連携メールアドレス**(xxxx@xxxx.xxx.gserviceaccount.com)を入力してください。 権限の設定は「**変更及び共有の管理権限**」を選択し、「**保存**」ボタンをクリックしてください。



6. 連携したいカレンダー名称をクリックしてください。※下図は「Ni Consul」



7. カレンダーのアドレスに表示されている、**カレンダーID** の情報をクライアントパソコンのメモ帳などにコピーしてください。弊社製品のオプション設定で必要になる情報です。



以上で、Google カレンダーの設定は完了です、最後に弊社製品のオプション画面で設定を行ってください。

#### 3-4. 弊社製品のオプション設定

1. 弊社製品のオプション設定画面を開いてください。

NI Collabo Smart > スケジュール > スケジュール連携設定 もしくは Salese Force Assistat シリーズ > スケジュール > スケジュール連携設定 に設定画面があります。 以下の情報を入力してください。

スケジュール連携設定	「連携する」を選択
公開設定	「非公開」を選択
認証設定	「 <b>共通の認証情報を利用する</b> 」を選択
連携先力レンダー	上記設定のカレンダーID( <b>xxxxxxxxxx@gmail.com</b> )を入力してください

- 2. 連携確認 ボタンをクリックしてください。
- 3. 保存 ボタンをクリックしてください。



・Google カレンダーの情報を NI Collabo Smart のスケジュールで公開(閲覧可能)にする場合は、公開設定を「公開」にしてください。

以上で、Google カレンダーと連携するための設定は完了になります。

#### ○使用許諾

- © 2015 Google Inc. All rights reserved. Google および Google ロゴは Google Inc. の登録商標です。
- © 2015 Google Inc. All rights reserved. Google Calendar™ カレンダー アプリケーションは Google Inc. の商標です。
- © 2015 Google Inc, used with permission. Google および Google ロゴは Google Inc. の登録商標であり、同社の許可を得て使用しています。
- 商標

本説明書に登場する会社名、製品名は各社の登録商標、商標です。

○ 免責

本説明書に掲載されている手順による操作の結果、ハード機器に万一障害などが発生しても、弊社では一切の責任を負いませんのであらかじめご了解ください。

○ 発行

2019年8月26日 第5版

## 株式会社 NIコンサルティング

サポートデスク

 $E\text{-mail}: support@ni\text{-consul.co.jp} \quad Fax: 082\text{-}511\text{-}2226$ 

営業時間:月曜日~金曜日 9:00~12:00、13:00~17:00(当社休業日、土・日・祝日を除く)